

九十一集

卒業の時、
涙を流して、
先生への感謝が

溢れている。
保けんまはら
赤い糸を

石おめりた
小弓校で成績一審で
合格出来た

か、元学校への
感謝

現実甘く
なつた

月謝を拂
うに
四苦八苦だつた

そ、
卒業去来

それからの
山あり谷あり

今日まで
真剣に前を見て
歩いて来た

おん
の
ためらいも
なかった

息子や妹に
たすけを
うけて

両手を
ふって来た
道のり

よか
り
な
ら
な
ら
な
ら
な

人生の
旅り
とき
ふと
甘え
た
ま
ま

それ
これ
な
ら
な
ら
な
ら
な

こ
の
世
の
中
で
も
や
さ
し
く
な
ら
な
ら
な

他人
から
の
や
さ
し
さ
な
ら
な
ら
な

歩いて来たのも

わすれかけていた

甘えの目ばかりで

今更にはあり 両方さふつて

~~あ~~すまをまいて 行き止り

卒業は

いろん存卒業とこえて来た

とれま何の苦もなくすませに

今回でつて ^{下宿} 終り

^ア 身入しヤルも ^ア こきやんよろしやうと

とすんは

十月十一日 卒業 終了

2022
10/11